



キャリア教育について2

9月10日(火)に6年生対象に租税教室と「夢きらきらプログラム(キャリア教育)」を実施しました。租税教室は、税の種類やそのはたらきなどを学習する場で、毎年実施しています。一方、「夢きらきらタイム」では、松山法人会青年部の協力のもと、多様な職種の方にお話をいただきました。

保育士、大学教授、
自衛官、プロ野球選手、
デザイン業、環境整備業、
建築設計士、建設業、
内装業、損害保険業、
フィナンシャルアドバイザー、
銀行員、税理士、美容業、



旅行業、飲食業といった業種の方から、貴重なお話を聞くことができました。

実際に体験する場も設けていただいたので、より仕事についての関心が高まったと思います。以下は、今回の活動後の子どもたちの感想です。

【「夢きらきらプログラム」の感想】

㊦ 私は、大学教授と環境整備業の方々にお話を聞きました。どちらも違う職業だけれど、どちらも「夢をもつことは大事。失敗を恐れずどんなことにでもチャレンジしてほしい。」と語っていました。失敗を恐れると、何もかも自分からチャレンジできなくなってしまい、何も生まれない。しかし、失敗を恐れずにチャレンジし続けると、できないことがあるかもしれないけれど、できるようになるかもしれない。私は、「夢きらきらプログラムを通してはじめてできないと諦めるのではなく、夢に向かって失敗を恐れずチャレンジしていくことが大事だと思いました。



㊦ 17人もの夢語り人の方に来ていただいて、税金や仕事でのお金の使い方についてたくさん知ることができました。私は、税理士の方、デザイナーの方のお話を伺いました。税理士さんのお話では、確定申告や代行サービスなどのたくさんの仕事があること、お仕事のやりがいなどが分かりました。デザイナーさんからは、みんなが好むようなデザイン、パッケージやチラシのデザインを教えてくださいました。



㊦ 「夢きらきらタイム」では、内装業と保育士のところに行きました。内装業では、壁紙の貼り方を見せていただきました。初めて見る作業でした。保育士のところでは、まず、自己紹介をしました。保育園と幼稚園の違いも教えてもらいました。みなさんの夢について聞くことができよかったです。

㊧ 大学教授の方と環境整備業の方にお話を聞いた。二人とも、「目標を見付け、失敗を恐れずチャレンジする」ことが大切だということ saying していた。私も将来の夢に向かってたくさんの方にチャレンジしたい。大学教授の方からは、薬剤師になりたい人を育てていること、人のことを助けられることがやりがいであること、研究をしたい、教えたいから教授になったこと、などを聞いた。お話が上手で楽しかった。環境整備業の方からは、知らなかった仕事を知ることができた。みんなが過ごしやすくなるのがやりがいだということが分かった。親の跡継ぎでやってみたら意外と楽しかったと言っていた。写真もあって話が分かりやすかった。



㊨ 僕は、大学教授さんと税理士さんにお話を伺いました。大学教授さんのお話で一番心に残っているのは、「何事も恐れずに夢や希望をもち、突き進むことが大切」ということです。大学教授さんも、実験で失敗することが多いけれど、その失敗でまた分かることもあるとおっしゃっていて、失敗も大切にしようと思いました。税理士さんのお話で一番心に残ったのは、銀行で多くお金をもらうには、経験と知識が必要だ、ということです。税理士さんが、税理士になる前、税理士のテストを受ける頃に経験と知識を積んでいたとおっしゃっていました。僕も、経験と知識を大事にしたいです。



㊩ 損害保険業の話聞いた。保険は、約束を売る仕事で、お客さんからの信頼をなくしてはいけないということが分かった。保険の利益で木を植えたり、世界の子どもたちにワクチンを打ったりすることが分かった。最初は、あまり保険について関心はなかったけれど、話を聞くと損害保険の面白さが伝わって、興味をもった。大学教授からの話では、薬を作るのにたくさんのお金（1年で1億5千万以上）と時間が掛かることが分かった。そのお金も税金で払っていることも知ってびっくりした。二人の話を聞いて、将来の選択肢が広がった。



どの方も、仕事を前向きに捉えて、やりがいを中心に子どもたちに伝えてくださったことが、大変ありがたかったです。直接、仕事のことについてお話を伺えたことが、子どもたちの将来によい影響があると信じています。